

上勢区行政懇談会

令和元年11月30日現在

No.	質問等	回答	対応状況	備考
1-1	北公園の前の歩道に最近、進入禁止のポールが設置されたがウォーキング等の支障になっている。	住宅4件分の乗り入れ申請があり、間口が広くなることから交通安全上ポールを設置して、歩道に駐車できないよう対策をとっています。また、敷地からはみ出して駐車されており歩道の支障になっていたので居住者の方には指導していく予定です。歩道スペースを確保するため、ポール2本のうち1本を撤去するかどうかについては今後一緒に考えていきたいと思っております。	継続して対応。	土木課
1-2	上勢区内にCバスの乗り場とコースを増やしてほしい。	C-BUSについては現在実証運行期間中であり、様々なご意見を頂きながら本格運行に向けて取り組んでおります。 コースや停留所設置のご要望についてはこれまでも多数頂いておりますが、一方で、周遊時間の短縮を要望する声もあり、さらに財政上の課題もございます。様々な課題や乗車実績を含め、総合的に判断し検討してまいります。多くの皆様がCバスをご利用いただくようお願いいたします。	C-BUSについては現在も実証運行を続けており、頂いたご要望やご意見、様々な課題を踏まえ、総合的に判断し検討を続けてまいります。	企画財政課
1-3	Cバスは、観光するみたいに乗車して北谷町全域を観光できるのでしょうか？	C-BUSは町民アンケートを基に周遊ルートを設定しており、町内の各施設を結ぶコミュニティバスとして実証運行を続けております。各世帯に対してはルートマップ及び時刻表を配布しておりますので、観光目的やご自分の生活スタイルに合わせて利用いただけたらと思います。ご利用の際は目的地最寄りのバス停をご利用ください。また、北谷町役場では回数券も販売しておりますので、こちらもご活用ください。	回答のとおり。（完結）	企画財政課
1-4	第二小学校前からドラックイレブン前まで、退勤時間渋滞がひどいです。道路行政上対策方法はないですか。	渋滞の原因を分析し緩和の対策を講じる必要性は重々承知しており、交差点の改良や右折帯の設置、信号の時間差など様々な対応策が考えられます。この問題については、町内関係部署や警察等の関係機関と連携を図りながら解決に向けて取り組みたいと思っております。	継続して対応。	土木課
1-5	その途中に、高層マンションが建つようですが、ますます交通事情が悪くなるのが予想されます。町としては、どういう予測をしようという方法で地域住民が困らないように対策をとるのでしょうか。また、上勢・桑江線も混むと思うが、裏側の旧道路が尚更抜け道として交通量が増えると思います。	高層マンションが建つと住民が増えるため交通量が増大すると思いますが、どのように交通渋滞が発生するかは現時点では分かりません。そのため、渋滞については原因を分析し、町内関係部署や関係機関と連携を図りながら解決に向けて取り組みます。	回答のとおり。マンション完成後に状況をみて検討します。	土木課
1-6	上勢公園の植栽が大木となり、下枝で公園内が暗くなります。剪定をして、明るくして欲しいです。	現場を確認しましたので、早急に剪定を行っていきます。	令和元年11月に高木剪定を終えています。（完結）	土木課
1-7	4班3組、第二小学校運動場側（裏門）の通りのプールの端付近に設置されているミラーについてですが、教会側からプール向けに直進、または右左折等しようとした時、ミラーに映っているのは向かいの家の石垣で、車の往来が全然見えません。以前通った時にぶつかりそうになりました。	現場を確認しました。カーブミラーを新たに追加して対応します。	カーブミラー設置済み。（完結）	土木課

上勢区行政懇談会

令和元年11月30日現在

No.	質問等	回答	対応状況	備考
1-8	上勢頭634番地の旧道路の改修工事はどうなっていますか？進捗状況を伺います。側溝も十分ではなく、住民は困っています。早めの対策をお願いします。	平成30年度に用地交渉を行い、地権者から同意を得ていますので、令和元年度に補償契約を行い、令和2年度に工事を予定しています。	令和元年度、用地購入・物件補償を執行中。	土木課
1-9	上勢頭641-3の前、消防からの道路は改修が必要だと思いますが、対応はどうなっていますか？	上勢頭55号線東側の工事完了後に検討したいと思います。	令和2年度に上勢頭55号線東側の工事を発注する予定であることから工事完了後にう検討を行う。	土木課
1-10	桑江540番地の牧志さんの横、上勢のタンクへの道入口は水はけが悪く、雨が多いと水たまりが大きくなり、狭いので人と車がすれ違う時大変困ります。それとブロック塀も斜めに傾斜しています。危険だと思いますが、対策はないですか？	現地を確認していますので、対処して行きたいと思います。	他の維持工事の状況もみながら着手する予定。	土木課
1-11	国体道路中央分離帯への横断防止のフェンス設置はどうなっていますでしょうか？他市町村では狭い道路でも横断防止のフェンスが設置されています。国体道路への設置をお願いしたいです。	県道23号線（国体道路）への横断防止フェンスの設置については、以前より要望があり、関係機関へ要請しておりました。その後、県中部土木事務所より説明があり、今年度の9月頃からフェンスの設置を着工し、年度内に完了することの報告を受けております。	現在、フェンス設置については、今年度内の完了見込みです。	総務課
1-12	教員の平和教育の研修について、これまで町教育長に対して3回ほど要請を行ってきたが実現していない。中城村では行っている。 北谷町の史跡や戦跡等の研修はもちろん、沖縄全体に目を通した平和教育の研修を、新任だけでなく全教員を対象に行っていただきたい。来年度には実現できるようにお願いしたい。	町においても、子どもたちに平和を伝える上で地元の状況を知っていただくため、初任者研修ではありますが、史跡や文化財めぐりの中で、平和学習として、米軍上陸地モニュメント、クマヤーガマ、特攻艇秘匿壕跡など町内の戦跡めぐり等の研修を行っています。 どのような手法が効果的で平和教育を伝えられるようになるのか検討するとともに、学校の実情に合わせた養成ができるよう検討していきたいと考えております。	全教職員の平和教育視察研修については、令和2年度より、夏季休業中に2校ずつ、教育委員会移動学習バスを活用した南部戦跡等の視察研修を、各学校の校内研修として実施をすることとなっております。	学校教育課

上勢区行政懇談会

令和元年11月30日現在

No.	質問等	回答	対応状況	備考
1-13	<p>上勢は昨年から自主防災組織を作ろうということで、講演会を開いたり、色々と区民へアピールをしている。そのような中、上勢でも米軍人等が多くなっており、災害が生じたときに相当な障害が生じてくるのではないかという心配が生じている。</p> <p>この件について米側との協議があったのか、あるいは米側がどのような考え方をしているのか、もし、ご存じであれば教えていただきたい。</p>	<p>米軍が町域に対してどのような話をしているかについては聞いていませんが、基地内については、西側地域が非常に海岸に近いので、津波が発生した場合に地域の人を助ける目的で基地内への避難協定を結んでおられます。</p> <p>町内の各地域は米軍人、外国人が非常に多い地域ですので、今後もこのような協力体制は必要と考えています。ただ、地域の自主防災組織をきちんと確立させて、町と自治会が連携をしながら、地域住民にどういことができるのかということと、外国人に対してもどのような対策ができるかということと一緒に考えていかなければいけないと思っております。</p> <p>現状の取組として、町では防災行政無線を整備してデジタル化を図っており、音達の域がかなり長くなったのではないかと考えています。今年度はシステムを構築して、災害情報については多言語化での情報発信をする予定になっていますので、このことも含めて地域の皆さんと一緒に考えていきたいと考えております。</p> <p>また、基地司令官から町の避難訓練に米軍人が参加することについて提案がありまして、一緒に訓練を実施することもよいのではないかと考えています。</p>	<p>回答のとおり。（完結）</p>	<p>総務課</p>

上勢区行政懇談会

令和元年11月30日現在

No.	質問等	回答	対応状況	備考
1-14	<p>観覧車は北谷町のシンボルだと思っているが、電気が4割～5割がつきはぎに消えてみすぼらしい状況になっている。民間の企業が運営しているので費用面などあると思うが、そこは町が音頭を取って対応していただきたい。</p> <p>また、フィッシャリーナ地区の駐車場の有料化は長時間の駐車対策というのを見た。おそらく美浜の住民の方が駐車していたのかなと思う。夜間の駐車は認め、昼の時間帯は駐車させないような料金的な施策を行うことが可能ではないかと考える。</p> <p>Cバスは色んなルートを通っていると思うが収支が悪い。例えば、バスの車内でまちのカフェやレストランなどの広告を流すようなことはできないのか。広告収入を得ることで多少なりとも収支が改善するのではないかと思う。広告を出す、クーポンを配布する、ラッピングバスもあると思うし、そういった方法をどんどん取り入れて、企業からお金をもらい、利用者からなるべく取らないかたちにしていかないとなかなか利用者が増えないと思う。</p> <p>また、沖縄は以前より交通渋滞がひどくなっていると感じている。人口も増えているが観光客がどんどん増えている。さらに来年、滑走路もできるので、さらにひどくなるのが予想される。そういった中で、そろそろ交通がマイカーから公共交通にどんどんシフトしていく時代が来ると思っている。東京だったり内地を見たときに、まちが発展していく拠点というのは駅だったりターミナルだったりする。沖縄では駅に代わるものがバスや船など思っていて、船や、バス、コミュニティバス、マイカー、レンタカー、そういったものを統合できる場所を確保する必要が時代的に出てきていると思っている。</p> <p>北谷町は町内の人口と比較して3割ぐらいの外国人が住んでいると思うが、日本人とアメリカ人の生活がバラバラという印象がある。もう少し両者が融合できるような場所を提供していく必要があると思っている。</p>	<p>観覧車の電飾については、片側は元々電気を付けていない状況です。観覧車は、北谷のシンボル、アメリカンビレッジのシンボルであり、これに関しては事業者の方々、アメリカンビレッジ事業者会、観光協会、通り会など連携を密にしながら、相談をしていきたいと考えております。北谷町の西海岸一帯を活性化させていくために色々と町も支援していきたいと思っております。（商工観光課）</p> <p>フィッシャリーナの公共駐車場については、2時間は無料でそれ以降は有料化しております。これは3年間の社会実験です。一方、アメリカンビレッジの無料駐車場は、実際にはお客さんのための駐車場ということで、各事業者から分担金を徴収しています。</p> <p>フィッシャリーナエリアの公共駐車場については公共施設を利用する人のための駐車場で、ホテルや店舗を利用する人たちの駐車場はそれぞれの事業者で確保することになっています。将来的には、お客さんとして利用した方は2時間無料で、それ以降の時間はそれぞれの事業者が負担するという方向にもっていきたいと考えています。現在は、あくまで社会実験として、駐車場の有料化を行っており、今後、その実験データを得て、どのような駐車場にするか検討していきたいと考えております。（農林水産課）</p> <p>Cバスについては、高齢者がストレスなく各方面に移動できる手段として設けています。ただCバスには年間3千万円ぐらい投資をしていますが収入が140万円ぐらいです。Cバスがスタートした時から、民間とのコラボで収入の確保ができないか、運営ができないかという提案をいただいています。ただ、今は実証実験で、どのようなニーズがあって、どのようなルートがふさわしいかを検証しているところです。また、Cバスだけでは賄いきれないところについては地域によって交通モードを変えて、それを繋げていくということも今後必要ではないかということで、今、交通網計画にも取り組んでいます。</p> <p>交通結節点については、美浜の公共駐車場を中心にしたまちづくりをテーマに、今年の2月にニライセンターでまちづくりフォーラムを開きました。その中で、交通関係の先生方とか、町民の皆さまからのアンケートから、西海岸は自然の海、観光資源として歩いて楽しいまち、という意見が多数ありました。この空間を有効に活用できるような、できれば車を置いて、西海岸をずっと歩いて楽しめるようなまちづくりを目指して、サンセットビューライン構想を実現させていきたいと思っております。</p> <p>また、役場の隣では70ha弱の米軍基地の返還が2025年に予定されています。返還跡地では色々な国の方々の文化、そして習慣、慣習というものを受け入れ、学習する「知の拠点」というものを考えており、世界に羽ばたく子供たちをここで育てていきたいと考えています。また、イギリスから来ているディーンマグナススクールとの交流を通して、また、子供たちをハワイやイギリスに派遣して、質の高い行政サービスを行っております。（企画財政課）</p>	<p>観覧車の電飾については回答のとおり。（完結）（商工観光課）</p> <p>フィッシャリーナの公共駐車場については回答のとおり。（完結）（農林水産課）</p> <p>C-BUS及び知の拠点については回答のとおり。（完結）（企画財政課）</p>	<p>商工観光課・農林水産課・企画財政課</p>

上勢区行政懇談会

令和元年11月30日現在

No.	質問等	回答	対応状況	備考
1-15	パークゴルフ場がほしい。非常に必要がある。これまでずっと遠くに行っている。	パークゴルフ場は、砂辺の町民農園近くの国有地に整備する予定で取り組んでいます。今年度は基本設計、来年度に実施設計、令和3年度に工事をする予定で進めています。	回答のとおり。基本設計については、令和2年3月末で完了見込となっています。	土木課
1-16	子ども食堂はどういうものなのか。国の制度としてずっと継続されるものなのか。北谷町にどのくらいあるのか。	子ども食堂は居場所づくりというかたちで、ボランティア団体の方で第2、第4土曜日に上勢桑江児童館で無料の昼食を提供しています。ほかにも法人がニライセンターで実施しているちーたん塾におにぎりの提供を行っています。 町も国の補助金を活用して支援を行っていますが、補助金は徐々に減っていくのではないかと考えています。その際に町としてどのような支援ができるのか、その時々で考えていきたいと思ひます。	回答のとおり。（完結）	子ども家庭課
1-17	子供が北谷小学校に通っているが、教室と廊下の上に壁がない。廊下側の席に座っている子は隣の教室の先生の声が聞こえて授業に集中しにくいと思う。壁や壁に代わるものを設置していただきたい。	オープン教室のメリットとして、全体的な一体感が得られる点、職員などが子供たちを見守ることができる、目を配ることができる点、また、子供たちが自主的に他の子供たちを意識することによって模範性が高まる点があり、オープン教室を導入してきた経緯があります。このような経緯でオープン教室を導入しておりますが、今後、調査研究しながら、よりよい子供たちの環境づくりについて考えていきたいと思ひます。	施設整備においては、学習方法などの教育現場におけるソフト面と密接に関連しているものであることから、オープン教室に関する学校側へのヒアリング等の実施を検討しているところです。	教育総務課